

整備事業評価書

(都道府県名:福岡県)

政策目的	事業実施地区数ア	評価対象外地区イ	評価対象地区アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	4	0	4	59.5%	3	有	<p>本県において本年度の事業評価の対象となったのは4地区であり、都道府県平均達成率は59.5%であった。</p> <p>久留米農業協同組合については、下位等級指数の削減が未達成であった。糸島農業協同組合については、高温耐性品種の向上が未達成であった。アグリプロ株式会社については、業務用向け割合及び契約取引割合が未達成であった。南筑後農業協同組合については、契約取引割合及び単位面積当たり販売額が未達成となった。</p> <p>これらの目標等未達の要因としては、暖冬などの気象変動により、適期に栽培管理できなかったことや、病害虫の影響を受けたことが挙げられる。今後は、成果目標の達成に向け、天候に応じた栽培管理や病害虫防除などの徹底について、関係機関と連携のもと指導を行っていく。</p>	<p>福岡県の平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し59.5%であり、目標は達成されていない。</p> <p>このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向けた要因分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成地区に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、福岡県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は、以下のとおり。</p> <p><参考:成果目標未達成地区の概要></p> <p>【水稲、麦】2地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高温耐性品種の作付割合の増加」及び「下位等級指数の削減」を目標に穀類乾燥調製貯蔵施設を整備した1地区について、稲の高温耐性品種の作付割合は目標達成したものの、麦の下位等級指数については、天候不順により、粒の充実不足が発生したことで成果目標未達成となった。 ・「高温耐性品種の作付割合の増加」及び「パン・中華めん用品種の作付割合の増加」を目標に穀類乾燥調製貯蔵施設を整備した1地区について、麦のパン・中華めん用品種の作付割合の増加は目標達成したものの、稲の高温耐性品種の作付割合については、成果目標未達成となった。 <p>【野菜】1地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「契約取引割合の増加」及び「単位面積当たりの販売額の増加」を目標に、ナスの集出荷貯蔵施設を整備した1地区について、部会員の離農や天候不順・病害虫の発生等により品質及び収量が低下したことから、いずれの成果目標も未達成となった。

(注) 1. 「成果目標の平均達成率」欄は、要綱別紙様式5に記載された率について確認の上、転記する。

2. 「都道府県による総合所見」欄は要綱別紙様式5に記載された内容を確認の上、転記する。